

善し悪しから違い認識へ

広報委員会



坂本 和彦  
大泉開発㈱代表取締役社長

年齢的にも、未だPTAという団体に属し活動させていただいている関係からPTA活動を通して学ぶことが意外なほどに数多くある。

つい、最近、PTA研修会でこんな話を聴く機会に恵まれた。

同じレストランでAとBの家族が隣り同士、別々のテーブルで食事をしていたところA家族の幼児がご飯つぶをこぼしてしまった。その子のお母さんは「拾って食べなさい」と言って食べさせた。

同じようにB家族の幼児もご飯つぶをこぼしたところ、その子のお母さんは「汚いから捨てなさい」と言って捨てさせたのである。この場合、どちらが正しいのだろうか？と突然問われたとしたら答えられるだろうか？この例について、A、Bのお母さん方のしつけや指示方法に善し悪しを問うのはナンセンスかもしれない。

お母さんの言うことを素直に聞き入れる子供達の心理は、お母さんの言うこと一つ一つがある時期までは当然のこととして受け入れられて育つとされる。

A家族、B家族ともに各家族の生活の背景と習慣の違いを認識し合うことが大切であって善し悪しを問うのは疑問である。とかく違いを善し悪し、○×で片付け結果を急ぎ、経過を二の次に考える場面に遭遇することがしばしばある。

いじめ、不登校、非行、体罰等の問題により教室崩壊とも言われる状況にある学校さえ実在する。

親・学校・地域それぞれの果たす役割をお互いに認識しあいながらそれぞれの子供たちに夢と希望を与えられたら…ふとそんな風に考えてみたりする。

プロフィール

昭和22年 8月12日生まれ 48才

昭和45年 日本大学経済学部産業経営学科卒業

昭和45年 大泉ボーリング地下開発㈱入社

昭和46年 国土建設学院地質調査科卒業

昭和55年 エベレスト・タイセン・サービス設立(ネパール)

昭和57年 大泉開発㈱に社名変更

昭和60年 (社)五所川原青年会議所理事長就任

昭和62年 (社)日本青年会議所東北地区青森ブロック協議会長就任

昭和62年 青森空港開発イベント「TAKE OFF 87」実行委員長

昭和63年 大泉開発㈱代表取締役就任

平成3年 西アフリカへ地下水開発の為に技術者派遣

平成6年 本社を鶴田町から青森市へ移転

平成6年 中米ニカラグアへ地下水開発の為に技術者派遣

平成6年 ブータン王国へ地下水開発の為に技術者派遣

平成6年 ㈱タイセントレーディング代表取締役社長就任

業務外活動 陸奥新報「日曜論壇」論説委員

五所川原法人会青年部会長 青森県北郡連合PTA会長

労働省青森婦人少年室協働員